



新木友行《逆方エビ固め》

この春、高梁市成羽美術館に、そのユニークな活動で話題を集めている「アトリエ インカーブ」の4作家による秀作群がやってきます。

自作を「鉄骨図面」と呼ぶ寺尾勝広の絵には、それぞれの部材から巨大な構造物が組み上げられる時間軸をも捉えようとする、飽くなき探求が映し出されているかのようです。また雑誌の広告ページなどから想を得る武田英治は、一つの完成されたデザインを辿りながら、独自の感性でモード画を思わせる新たな絵を描き出します。現実と空想の狭間を行き交うような幻想的な情景を描く湯元光男と格闘技をこよなく愛する新木友行は、共にきわめて鮮烈な色彩世界を持つ画家です。会場には、今展のための新作を含む絵画や彫刻作品約45点を展覧しますが、当館特有の建築空間との共鳴も見所の一つと言えるでしょう。

これまでニューヨーク、東京、大阪と多くの人を魅了し続けてきた作家達の、岡山初となる展覧会をどうぞお見逃しなく。

会 期 ● 4月25日(土)～6月14日(日)

開館時間 ● 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観 覧 料 ● 一般600円、高校・大学生・65歳以上400円、
小・中学生200円 ※20人以上団体は2割引

休 館 日 ● 毎週月曜日(5月4日は開館)、5月7日(木)

オープニングギャラリートーク

開催日時：4月25日(土) 午前11時30分～(約30分)

講 師：社会福祉法人 素王会 アトリエ インカーブ
左海和可子さん、田中範子さん

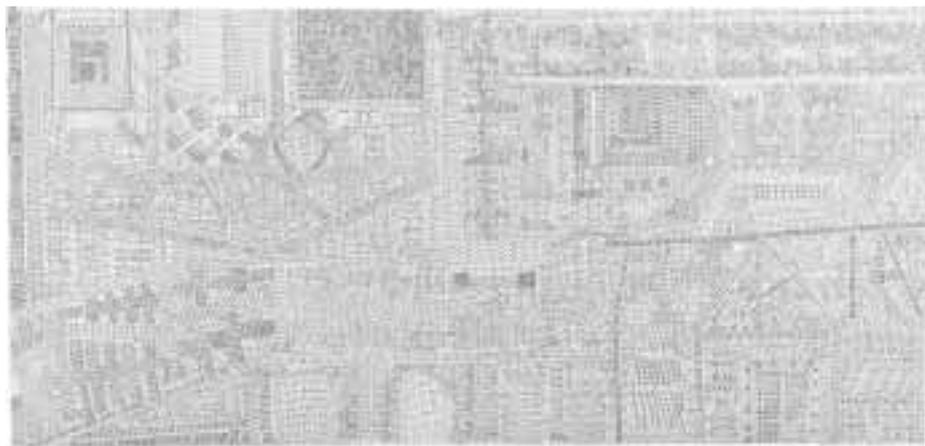
ギャラリートーク

開催日時：5月17日(日) 午後2時～午後3時

講 師：社会福祉法人 素王会 アトリエ インカーブ
クリエイティブディレクター 今中博之さん



武田英治《靴》



寺尾勝広《昭和駅》



湯元光男《クジャクとゴクラクチョウ》

高梁市成羽美術館

〒716-0111 高梁市成羽町下原1068-3 TEL.0866-42-4455
<http://www.nariwa.ne.jp/museum/>

高梁市発足5周年を機に、「成羽町美術館」は「高梁市成羽美術館」として新たにスタートします。これまで同様にご愛顧いただきますよう、よろしくお願いたします。
館長 澤原 一志

えがく

アトリエ インカーブ 展



アトリエ インカーブとは

社会福祉法人 素王会が運営する、知的に障がいがある人のアートスタジオとして2002年に設立。日々、穏やかな環境で作品を制作しながら、アーティストとして独立することを目指している。ニューヨークの老舗ギャラリーと契約し、国内外の展覧会やアート・フェアに数多く出品。その芸術性が注目されている。

アトリエ インカーブ蔵© 2009 atelier incurve

編集と発行(毎月15日発行) 高梁市総務部企画課

〒716-8501 岡山県高梁市松原通2043 電話0866(21)0210 ホームページアドレス <http://www.city.takahashi.okayama.jp/>



この印刷の一部には水質保全に有効な水なし印刷方式を採用しています。



環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

再生紙を使用しています。